

時局日誌 (三十五)

Y

H

生

六月十二日

畏き邊では興亞聖戰に敵つた海軍の將兵、軍屬三百五名に對して恩賞の御沙汰あらせられ、十二日午前零時支那事變關係死者論功行賞第二十四回分（海軍第十二回分）として賞勳局並に海軍省から發表された。主として楊子江流域、洞庭湖の湖航上陸作戦、支那沿岸各地の封鎖敵前上陸、抗日據點の爆撃等に偉勳を樹て、昭和十三年三月十九日から今年一月二十日まででに死歿した將兵達であるが、光榮の金鷄勳章を賜はつた者は二百十二名、その中には昭和十二年八月十五日皖贛圍突破の渡洋爆撃政行以來歴戦果勳の

名飛行隊長細川直三郎海軍少佐（功四旭五）以下優賞者九名の武勳が傑として輝いてゐる。

我が飛行機の偵察に依れば十一日午後五時二十分我が天野、村井、石川、村田松川、柴田、山岸、長谷川の各部隊は宜昌南端に突入目下殘敵掃蕩中。

去る一日我が北方兵團の漢水渡河進撃以來宜昌完全攻略成つた十二日までの綜合戰果概要左の如く、實に武漢攻略以來の莫大な數字を示してゐるが就中敵遺棄死體、捕虜の數が敵抗戰兵力に比して著るしく高率を示してゐる。即ち敵遺棄死體一萬八千、捕虜三千五百三十一、鹵獲

火砲四十四、各種機關銃百五十、小銃類二千八百九十五、各種砲彈一萬八千六百二十六、各種機關銃彈三十六萬五千二百五、小銃彈八百八萬四千六百六十三、手榴彈八萬八千三百三十七、五十キロ爆藥三百五十、地雷百七十六、土耕器具八百四十六、軍馬百七十三、その他通信器材、被服、背嚢、水筒類多數、白米を始め食糧の鹵獲は數へるに暇なき程である。

六月十二日午前十時外務大臣官邸において有田外務大臣と在京タイ國公使ビヤト・セナ氏との間に友交關係の存續及び相互の領土尊重に關する日本國タイ國間條約調印が行はれた。本條約は日タイ間

の傳統的友好關係を確認しこれを益々強固ならしめ、以て東亞の安定及び平和に貢獻せんがために日タイ兩國間に締結せられたものである。その要領は、

(一) 締約國相互の領土尊重並に平和及び友好關係の確認。

(二) 兩國共通の利害問題に關する情報交換及び協議。

(三) 締約國の一方が第三國より攻撃せらるる場合に於ける該第三國不援助義務を約したものである。

本條約は五年の有効期間を有し批准書交換の日より效力を發生することとなつてゐる。

ドイツ側發表によると聯合軍大部隊はデニツプ周邊において友軍との連絡を遮斷され潰滅に瀕してゐる。北方戦線におけるフランス軍防禦陣は最早統一を喪失してをりパリの危険は日睫に迫つてゐる。

佛軍の中央軍は十一日總退却しマルヌ

河の南岸に陣を布いた。

パリからの報道に依ればパリは今や全市街を擧げて要塞化し苟くも武器を執つて立ち得るに適はしい者は全部之が防衛に當り最後まで必死の防禦陣を張らんと悲壯なる擧相を表はしつゝある。

ドイツ軍はパリから西北二十キロの地點即ちパリ郊外サン・ドニに於けるパリの防備最前線を突破し又同じくパリ郊外のコンピエーニュ、ヴィレル・コトレを占領した。又ノルマンディーの舊都で現在下セーヌ縣の首邑ルアンは數日前からドイツ軍の手中にあり、オワーズ、エーヌ運河(エーレット運河)ムーズ河附近に獨軍の攻撃は續けられ、フランス軍は退却、海岸地方ではサンヴアルリーへフランス軍を包圍中、十二日のフランス空軍損害は五九機ドイツ空軍の損失三機である。

イタリア軍司令部は十二日參戰後初めて左のコンミュニケを發した。

一、伊空軍爆撃隊は十一日早朝及び日没時の二回に互りマルタ島を空襲、軍事施設を猛爆多大の戦果を収めた。

一、我が偵察機隊は北アフリカの英佛領殊に同地港灣に偵察飛行を行つた。

一、英空軍は伊領キレナイカ地方國境に來襲したが我が軍はこれを遊撃英機二機を撃墜した。

ドイツ軍は十二日シャトー・チエリ附近においてマルヌ河を渡河しパリ中心部を距る北方卅二キロのベルサン、ボーモン地區において佛軍と戰鬪を交へた旨確認した。

六月十三日

出征軍人軍屬應召從軍々々の所得税に關する件(大藏省令第四二號)公布

京都皇宮御駐紮中の御豫定を御恙なく終へさせたまひし 天皇陛下におかせられては連日にわたらせられての御繁忙にもかかはらせられず玉體いよ々御健かに天機ます々麗しく十三日午前八時十

五分京都皇宮御出門、全關西民草の心からなる奉送のうちに同八時三十分京都驛發御、帝都へ還幸の御途につかせられた。

パリの非武装は英佛最高軍事パリ會議で決定を見たものと解されるがこの結果パリ市街戦は回避されることになつた尤もパリ郊外に於ては佛軍はパリ防衛の最後の抵抗を試みるであらうが佛軍の主力が漸次退却を開始しつゝある今日その反撃力に大した期待をかけ得ず結局パリの包圍に獨軍が成功した曉に獨軍のバリ入城は左程困難なものでなくなり、歴史的パリ陥落がこゝ數日の後に迫つたやうである。

セース、マルヌ兩河方面に攻め寄せるドイツ軍の總兵力は百二十師團百八十万の兵力に達し佛軍は寡勢を以てパリ周邊を死守中である。

六月十四日

日本輸出農産物株式会社法施行ニ關スル

件（勅令第四〇七號）陸海軍土地工作物管理使用收用令施行規則（陸海兩省令第五號）國民徵用令ニ依り海軍ニ徵用セラレタル者ノ給與等ニ關スル件（海軍省令第一一號）公布

天皇陛下には風蕪る十四日多摩陵に行幸、大正天皇の御神靈に御親拜遊ばされ紀元節祭に次ぐこの年至重の御儀たる神宮、山陵等の御參拜を滞りなく御完了あらせられた。

宜昌突入部隊は引續き周邊の殘敵掃蕩に移りつゝあるが完全に退路を斷たれた十五ヶ師に屬する約一萬二千の敵は死者狂ひになつて最後の抵抗を試みて居るが逐次包圍網に追詰められて居る。十一、十二の兩日を通じて敵の遺棄死體は三千百五十五、捕虜九百九十五に達し鹵獲品も山砲六、迫撃砲五、防毒面千六百二十二、自動車三十七輛、馬三百二十一頭その他彈藥等多數。

獨軍司令部は十四日午後獨軍は敵軍主

力の抵抗撃破に續いて今や敵軍の徹底的崩壊を目指し大迫撃戦を開始したと發表した。

獨軍ハシヤロン・シュール・マルヌの東南ヴィトリル・フランソア三百高地及びヴェルダン北方モルトンムルアールの各要衝を占領した。

ドイツ軍がザール地域に於てマヂノ要塞線の攻撃を開始した。パリの陥落と共にフランスの北方戦線は全部壊滅してしまつたとドイツ側では傳へてゐる。マヂノ要塞線の北端モンメチーはドイツ軍により十四日占領された。

獨官邊は十四日午後獨軍バリ入城の歴史的光景を左の如く語つた。ドイツは遂にパリへ無血入城を行つた。

六月十五日

萬國郵便條約ノ施行規則（遞信省告示第一、六四一號）價格表記ノ書狀及箱物ニ關スル約定ノ施行規則（遞信省告示第一六四二號）小包郵便物ニ關スル約定ノ施

行規則（遞信省告示第一六四五號）郵便爲替ニ關スル約定ノ施行規則（遞信省告示第一六四四號）郵便振替ニ關スル約定ノ施行規則（遞信省告示第一六四五號）公布

英軍當局は十五日朝英遠征軍の佛海岸揚陸は十五日早朝にいたり突如中止せられたと發表した。

リトアニア政府がリトアニアに於ける駐屯兵増強の權利を要求せるソ聯政府の最後通牒を受諾した結果ソ聯軍は十五日午後より續々リトアニアに進駐しつつある。

十五日發表されたイタリア軍司令部公報に依れば佛伊國境方面の伊軍はアルプス方面に於て國境を突破重要地點を占領した。

總統大本營は十五日ドイツ軍がヴエルデンを占領し、他方ザールブリュッケン南方に於て廣地域ニ互リマヂノ線を突破した旨發表した。

十四日パリを屠つた獨軍はその勢を驅つて直にパリの南西にある佛軍を攻撃しつゝあるが、一方シヤンパーニュ地方のアルゴンヌの森を攻撃してゐた部隊は十四日アルゴンヌの南に達し、またマヂノ線の攻撃はモンメヂーからヴエルダンに向つた一隊が十四日ヴエルダンの北西に突撃を試みて有名な「死人の丘」を占領した。ライン上流のスキス國境附近でも猛烈な攻撃が始まつた。

六月十七日

開港及開港ニ於テ輸出スヘキ貨物ノ指定ニ關スル件中改正（勅令第四〇八號）開港々則中改正（勅令第四〇九號）公布
佛軍は目下南端佛瑞國境より北方モゼル河に至るマヂノ全線を放棄して後方の新防衛陣地向け總退却中である。と報ぜらる。

レイノー佛内閣は十六日午後十一時遂に總辭職を決行し、その後任として副總理ペタン元帥が就任した。

ペタン元帥を首班とする佛新内閣は入閣確實と見られるラヴアル、フランダンボネ及びマルケの四氏が後に至つて何れも入閣拒否したため若干の變動があり十七日早朝漸く成立を見た。佛新内閣の顔觸れ左の通り、

- △首相 ペタン元帥
- △副首相 ショイタン
- △國防相 ウエーガン將軍
- △法相 フランクトール
- △陸相 コルソン將軍
- △海相 ダルラン提督
- △空相 ピュジヨ
- △外相 ボードアン
- △内相 ポマレ
- △藏相 ブウチリエ
- △植民相 リジイエレ
- △文相 リボー
- △公共事業相 フロツサール
- △農相 シスリー
- △勞働相 ファヴィエ

△無任所相 イバルヌガレ

ヒトラー獨總統はムソリニ伊首相と刻下の時局協議の爲會見することとなつた。

ドイツ政府は十七日午後ヒトラー總統はムソリニ伊首相と會見を行ひフランスの降伏條件に對する獨伊兩國の態度につき協議を行ふこととなつた旨正式に發表した。なほ佛國の降伏條件檢討に引續き今後の對英作戰についても重要協議が行はれるものと見られてゐる。

フランス首相ベタン元帥は十七日ラデオを通じて左の如く對獨降伏を聲明した。

「余は昨夜中ドイツ軍司令部と連絡をとつた。余は重苦しき心を以て茲に我が軍が戰闘を停止せることを聲明する」ベタン佛首相の對獨降伏決定と同時にフランス空軍は既に戰闘行爲を中止した旨言明した。

十七日フランス新首相ベタン元帥はドイ

ツに對し降伏を申出で同時に降伏條件の提示方を交渉し來つたのでこれに對しヒトラー總統はムソリニ首相と會見の上條件を決定すべき旨を通達した。

ベタン佛首相はラデオを通じ佛國民に對してフランスは今や武器を捨て降伏せねばならぬと聲明、この事實は獨政府に通告済みであり獨政府はフランスの應ずべき條件を提示するやう通告を受けた。

佛首相ベタン元帥は十七日左の如き簡單なる放送を以てフランス對獨降伏を聲明した。

我軍は昨夜中に軍事行動停止の已むなきに立到つた。余は我軍の名譽を保つ戰闘停止に對して敵が用意を有するや否やを見出さんがために敵側と折衝したのである。悲壯なる運命に逢着せる祖國のこの重大なる時に當りすべてのフランス國民は一致團結して余自身及び余の政府のみはりに集まれ。

ベタン佛首相の對獨降伏放送は、獨軍に

對し「武人と武人の間の交渉」を提議、左の如く聲明した。

余は獨軍司令官に對し武人と武人としての交渉申入れを行ひ十六日夜中に戰闘行爲を中止するのやむなきに至つた。戰闘を止めねばならぬと告げる余の心は暗然たらざるを得ない。余の口からかく戰闘中止を言明する事は武人として遺憾至極であるがこれ又事態已むを得ざるところである。吾々佛國民は苦痛を自ら甘受し耐國の運命に對する信念のみに従はねばならぬ。

六月十八日

萬國郵便條約及同條約ノ最終議定書並ニ航空路ニ依ル通常郵便物ノ遞送ニ關スル規定及同規定ノ最終議定書(條約第三號)外國郵便規則申改正(遞信省令第三三號)外國郵便爲替規則申改正(遞信省令第三四號)外國郵便振替規則申改正(遞信省令第三五號)國民職業能力検査規則(厚生省令第二七號)公布

十八日午後四時開始されたミュンヘンに於けるヒトラー、ムソリニ兩巨頭會談は協議約二時間半の後同日午後六時半（日本時間十九日午前一時半）終了、フランスの單獨講和希望に對する條件に關して兩者の意見は完全に一致し、夫々大本營に引揚けた。

ヒトラー、ムソリニ會談終了後「ヒトラー總統、ムソリニ首相はフランスの休戰提議に對する獨伊兩國の態度につき協議した結果完全に意見の一致をみた」との簡単な共同コンミュニケが發表された。

獨伊兩國の對佛停戰及び講和條件を決定すべき獨伊兩巨頭の會見は十八日南獨ミュンヘンで行はれる事となり、ヒトラー總統は同日正午リッツベントロップ外相帶同ミュンヘンに到着すれば、ムソリニ首相もチアノ外相その他を從へて同三時到着、かくて世界の視聽の焦點となつた獨伊兩巨頭の會談は同日午後四時

（日本時間十八日午後十一時）開始された。

六月十九日

船員給料委員會官制（勅令第四一五號）
陸軍諸學校生徒採用規則中改正（陸軍省令第一九號）
戰車操典「條文略」軍令陸第一一號）公布

樞密顧問官 窪田靜太郎
補會計検査官懲戒裁判所長官

判事 長島 毅
同 久保田美英
同 豐水 道雲

會計検査院長 岡 今朝雄
同院部長 河本 文一
同 木村 清一

六月二十日

補會計検査官懲戒裁判所裁判官（各道）
英佛租界に對する交通制限は六月二十日十八時（午後六時）以後これを解除す

大日本軍天津防衛司令官
昨年夏日英會談が決裂して以來日英兩

國間の重要な懸案の一つとなつてゐた天津英租界問題は本年四月下旬から有田外相とクレイギー英大使との間に交渉が進捗し且英國側の仲介によつて天津佛租界問題も此の際英國の方と同時に解決を圖ることとなつて、帝國對英佛の交渉成り、愈十九日及び廿日の兩日に互り有田外相と英佛兩國駐日大使との間に正式覺書の交換が行はれた。

廿日夜九時過ぎから猛烈な雷雨が帝都を襲ひ、同九時五十三分麹町區大手町一ノ七逓信省航空局新館二階の工務課に落雷發火、木造二階建（延坪約一千坪）を燒盡して西側に接する同航空局舊館、東京營林局（何れも木造二階建、延坪それ〴〵一千坪）をなめつくし、一方火の手は東へ延びて東京稅務監督局（木造二階建、延坪一千四十二坪）神田橋稅務署、企畫院（同二階建、延坪二千六十坪）を全燒、燃え盛る火の手の中に帝都の消防自動車が出動して現場を包圍、お濠の

水や近接の全消火栓を動員して必死の消火陣を張り生田、飯田、太田、鳥海各部隊から各二個小隊、麴町、日本橋、京橋神田等の各警防團員約二千名、安倍警視總監、大久保市長等も駆けつける中に、當初の北東風が俄かに五メートルの西北風に變つて大藏省に延焼、對滿事務局を含む一部二階建木造、延坪約九千坪も忽ち灰燼に歸し、更に厚生省の裏手ベラツク建體力局と中央氣象臺臺本館（庶務會計）を燒盡して二時間餘りを経た廿一日午前零時四十分漸く鎮火したが幸ひ鐵筋コンクリート三階館建の厚生省本館並に隣接別館、中央氣象臺豫報、測候、無線各室等は災禍を逃れた。燒失坪数は約一萬六千餘坪、意外に延燒區域が大きかつたのは燒失した官廳の大部分がベラツク建で火の廻りが速かつた爲で、原因は發火直後丸之内署並に憲兵隊が調査したが全く落雷と一致した。しかし官民の協力よく整然消火に努めて延燒を食ひ止めた

事は賞讃さるべきであらう。

二十日朝フランス政府はスペイン政府を仲介として、イタリアに對し休戦を申入れた。イタリア政府はフランス政府が休戦交渉の全權任命次第、フランス側に休戦交渉の場所並に時日をスペイン政府を介して通告する豫定である。而してムソリーニ首相がフランスに對して提示すべき休戦條件は十八日ミニオンヘンに於てヒトラー總統と協定した競道に従ふものなることは明瞭である。

ベルリンからの消息では獨佛間の休戦協定調印式は二十一日パリ東北四十五マイルのコンピエーニユの森の中で行はれるとの事である。コンピエーニユは第一次大戰でドイツが敗北して屈辱的休戦協定に一九一八年十一月十一日午前十一時に調印を強要された所で調印式の行はれた列車の一室は今も記念物として保存されてゐる。ドイツ國民は歴史的コンピエーニユにおいて今回は前の場合と逆に

フランス側に調印を強要することになつたので國を擧げて喜び今度こそはフランスを徹底的に強壓して見せると意氣込んでゐると。

ルーズヴェルト大統領は廿日共和黨領袖フランク・ノツクス氏を海軍長官に、又前國務長官ヘンリー・スチムソン氏を陸軍長官に任命した。

六月二十一日

電報規則中改正（逓信省令第三六號）
甲電報規則中改正（逓信省令第三八號）
同上ニ關スル告示（逓信省告示第一七一〇號）公布

アングリフ紙の傳へる所に依れば獨軍はブレスト港占領に際し同地造船所で建造中の佛海軍最新式三萬五千トン級の主力艦クレマンソー號及びリシリニエ號を鹵獲した。

全世界の凝視の的になつた獨佛休戦會議は二十一日午後三時半（日本時間午後十一時半）北佛コンピエーニユに於て開

かれた。ヒトラー總統は幕僚長カイテル將軍、同陸軍總司令ブラウヒツツ將軍、ヘス副總理、リッベントロップ外相を帶同會場に臨み、劈頭カイテル將軍は休戰條件の前文を讀み上げ、「今日このコンピエーニユの森に於てフランスに休戰條件を提示するは前大戰によりドイツの軍事的榮譽の上に加へられたる拭ひ得ざる屈辱を想起し且つこれを拂拭せんがためである」と述べ次で對佛講和の目標として三項の休戰條件を提示佛代表に受諾を要求した。ヒトラー總統はドイツ國歌の奏樂裡に意氣揚々會場より退出した。

六月二十二日

寫真用感光材料ノ販賣價格指定（商工省告示第二九五號）リーマー（輸入品ヲ除ク）ノ販賣價格指定（商工省告示第二九六號）公布
東亞の天地に新世紀の黎明輝き渡り興亞の聖業まさに完遂されんとして日滿一體の眞義いよいよ顯揚さるゝ秋、日滿一

德一心の思召から紀元二千六百年御慶祝のため御訪日を仰出された滿洲國皇帝陛下には二十二日午前七時、熙宮内府大臣をはじめ張侍從武官長、星野總務長官、鹿兒島宮内府次長、韋外務局長官、荒井宮内府顧問官、工藤宮内府侍衛處長、曹侍從武官ほか十八名の扈從員を従へさせられ帝室御用掛として關東軍吉岡少將隨行、四千萬國民歡喜奉送の裡に國都新京を御出發、一路御訪日の御途につかせられた。

二十二日午前三時珠江左岸寶安縣附近に敵前上陸を敢行した我が南支の精銳は一氣に寶安縣城を占領した後泥濘と到る所進撃を阻む戰車壕を物ともせず炎熱を衝いて猛進撃を開始したが飛行機の偵察によれば、午後三時には福田（寶安縣東方二十五キロ）を抜き浮足立つた敵を急迫して息もつかせず進撃又進撃、午後四時半先鋒部隊は廣九線を遮斷し、同五時英支國境の要衝深圳を占領した。

二十一日ドイツ軍はフルターニユ地方のサンマロ、ロリアンを占領した。南部にも進撃中、この日の捕虜二十萬人、鹵獲した飛行機二百六十臺と傳へらる。

六月二十三日

佛伊休戰交渉の佛側代表一行は二十三日午後二時五十五分（日本時間二十三日午後九時五十五分）三臺のユンカー機に分乘してローマ近郊のリクツール飛行場に到着し、直に自動車でローマ市近傍の別荘に向つた。かくて休戰會議は直ちに同日午後開始された。

六月二十四日

暴利行爲等取締規則中改正（商工農林省令第一條）公布
任樞密院議長 樞密院副議長 原 嘉道
依願免本官樞密院議長公爵 近衛 文麿
伊佛兩國代表は二十四日午後三時四十分（日本時間午後十時四十分）再び停戰交渉を再開した。先づイタリヤ側代表は午後三時二十分ヴィラ・インテサに到着

フランス側代表の會場到着はこれに遅れること二十分であつた。フランス代表は二十三日の會談後本國政府と絶えず電話で連絡を續けてゐる。

伊佛休戰協定は二十四日午後七時十五分(日本時間二十五日午前二時十五分)調印を了し、イタリヤ政府は同七時三十五分此の旨ドイツ政府に通達したよつて獨佛兩軍の對佛戰鬪行爲は二十五日午前一時三十五分(日本時間同日午前八時三十五分)を以て停止されることとなつた。

二十四日午後七時十五分伊佛兩國間の休戰協定はローマに於いて調印を了せり。右調印終結の事實は同午後七時三十五分正式に獨政府に報告されたるにより獨佛休戰協定はここにその效力の發生を見るに至れり、即ち獨國防軍司令部は佛に對する戰鬪中止を全軍に命令、獨時間二十五日午前一時三十五分より交戰國雙方の軍事行動は停止されることとなれり、西部戰線に於ける戰鬪はこれをもつ

て終結せり。

フランス政府當局は獨伊佛三國間の戰鬪行爲はグリニッチ時間二十五日午後十一時三十五分(日本時間同午前八時三十五分)を期して停止される旨正式に發表した。

六月二十五日

食料品雜詰用空罐配給統制規則(農林商工兩省第七號)公布
樞密顧問官海軍大將正 鈴木實太郎
二位勳一等功二級男爵
任樞密院副議長

六月二十六日

木炭需給調節事業令(勅令第四三六號)
木炭需給調節特別會計規則(勅令第四三七號)公布

紀元二千六百年御慶祝の御使命も輝かしく盟邦滿洲國皇帝陛下にはいよゝけふ二十六日午前九時御召艦日向にて横濱御入港、一徳一心の契固きわが國土に晴れの第一歩を印し給ふ。天皇陛下御差遣の高松宮殿下の御出迎へを受けさせられ

御召列車にて午前十一時三十分東京驛御着、御入京遊ばされるが、畏くも天皇陛下には東京驛に行幸親しく皇帝陛下を御出迎へ遊ばされ、皇帝陛下と固き御握手を交はさせ給ふ由に承る。

徳川家達公薨去のため空位となつた日本赤十字社々長には現副社長徳川圓順公副社長には同社調査部長島津忠承公が就任。

佛印における援蔣物資輸送狀況監視のため現地へ派遣される監視員については二十五日大本營陸海軍部及び外務省からそれぞれ發表された。右監視員團は委員組織とし軍事専門家三十名他、外務、大藏省關係官吏若干名が大本營囑託を命ぜられ委員囑託として現地へ派遣されることとなり、派遣員の一部は二十六日午前六時發飛行機にて河内に向ふはずである。

二十六日午後二時わが陸鷲松本、森本兩部隊の偵察によればわが地上部隊は騎

兵部隊を先頭として廣西省明江縣城に突入した。同縣城は佛印國境まで四十キロで鬱江の支流（川幅百メートル）を距て、寧明縣城と相續して居り、寧明突入も同日中と見られてゐる。

六月二十七日

滿洲國皇帝陛下明治神宮、靖國神社に御參拜あらせらる。

佛印國境からの援蔭ルートを一擧に粉碎すべく猛進撃を續ける我が森本、田村の挺身各部隊は二十六日明江の東岸に達したが、明江は數日來の豪雨のため大増水し河幅二百五十メートルに達し、濁流岸を洗つて我進撃を阻むと見えたが勇敢な各部隊將士は二十七日早朝から果敢な敵前渡河を決行、對岸の堅壘に據る敵の猛射を冒して同河を渡河、對岸の敵を蹴散らして猛進を續け遂に同日午後五時寧明に突入、寧明縣城に突入した各部隊は直ちに附近一帯の掃蕩を開始し二十七日午後六時にはこれを完全に占領した。

六月二十八日

裝蹄師會令（勅令第四四〇號）公布

ルーマニア政府はベツサラビア並にブコヴィナ兩地方をソ聯に割讓することに同意した。なほ二十八日ソ聯軍はチエルナウチ、キシナウ、アツケルマン（チエタテア・アルベ）三都市を占據した。

二十八日早曉ソ聯軍は國境を越えてルーマニア領内に進軍、正午までにベツサラビア及びブコヴィナ兩地方の三都市チエルナウチ、キシナウ、チエタテア・アルベを無抵抗裡に占領した。ブカレスト駐在ソ聯公使はルーマニア政府に對し、これ等地方在任のルーマニア人はソ聯軍の進駐後四日以内に立退くやう通告を發した。

米國共和黨大會の次期大統領候補者指名選舉は二十七日深更に至り遂にウィルキー氏がダフト氏を破つて當選、指名された。

六月二十九日

裝蹄師法施行規則（農林省令第五〇號）

重要機械製造研究獎勵金交付規則（商工省令第四七號）郵便貯金規則中改正公布

閣院參謀總長宮殿下には今次事變勃發以來作戰に伴ふ報道宣傳に關し常に軍と緊密な連絡を保ちつゝ、聖戰遂行に協力し思想戰の一翼として活躍して來た全國主要新聞社に對してその功績を嘉賞あらせられると共に更に將來共緊密な協力を要望あらせられる特別の恩召を以て、今二十九日午前十一時、各社代表者三十五名を大本營陸軍部に召され有難き御言葉を賜はつた。

大本營陸軍報道部 謹語。

この度閣院參謀總長宮殿下におかれまはしては特別の恩召を以て全國主要新聞通信社代表者に對して有難き御言葉を賜はる御豫定と承り、誠に恐懼感激に堪へざる所であります。願みれば聖戰茲に三年、この間報道戦における最前線の戰士として銃をペンにかへて戰場を疾驅し

皇軍と共に辛苦を分つた陸軍側の従軍記者團に寫眞班は本日までに延べ人員二千五百五十六名に上つてゐます。

彈丸雨飛の中をもととせず、影の形に添ふ如く兵と共に攻め軍と共に進んだ從軍の記録と寫眞は銃後國民精神を引締め、聖戰の意義を世界に認識させる上に大きな役割を果したのであります。而して職に殉じた報道戰士は二十七柱に及ぶのであります。その御遺族の方々に對してはお慰めの言葉を見出さないのであります。戦線と銃後を結ぶ紐帶として樹てられた功績と今日の光榮を思へば以て限すべきものがあると思ひます。

政府は廿九日午後三時より首相官邸に全國の新聞通信關係者を招待、茶會を開催政府側より米内首相、有田外相以下各閣僚出席、首相並に外相より最近の歐派情勢につき説明、政府の方針をのべた上内外諸問題についての質問に答ふる所があつた。

ウィースバーデン(西ドイツ、ライン河畔の勝地)で開催される事になつた獨

佛停戰會議は二十八日アンチヂエ將軍以下フランス側委員の到着に依り愈今二十九日から本會議に入る事になつた。

伊政府は廿九日イタリヤ空軍の至寶ベルボ元帥が空中事故によつて戦死した旨發表。

六ヶ月振りに再び感激の日章旗が南支の西南端佛印國境の鎮南關に翻つた。同所は佛印河内から來る鐵道の終點に當りいふ迄もなく援蔣ルートの大據點である。

東亞の新秩序の確立、我外交方針説明
有田外相けふ放送。

六月三十日

キレナイカ(伊領リビアの東北部エヂプト隣接地方)のイタリヤ軍は過去十八日間に互り滿を持して機を熟するを待つてゐたが俄然攻勢に轉じ敵の抵抗を撃破し、三十日エヂプト領内に侵入し英軍據

點數ヶ所を占領した。

七月一日

造幣局共濟組合規則中改正(大藏省令第四八號) 專賣局共濟組合規則中改正(大藏省令第四九號) 海軍共濟組合規則中改正(海軍省令第一二號) 公布

龍州街道をまつしぐらに猛進中のわが高橋挺進部隊は同地方特有の岩山地帯によつて頑強に抵抗をつゞける頑敵を撃破しつゝ、その快速を利用して一日正午つひに目ざす龍州に突入した。これによつて憑祥、鎮南關とともに佛印國境援蔣ルートの三據點はすべてわが手に歸したわけである。

高橋部隊は一日正午佛印國境に迫り援蔣ルートの牙城龍州縣城の一角に突入、直に市内の掃蕩を開始し午後一時半城門高く感激の日章旗を翻し完全占領の凱歌は援蔣輸血路完封の偉大なる成果とともに強く高らかに佛支國境前線に轟きわたつた。

陸軍ではさきき全軍需工業に對して生産力擴充と低物價政策の遂行を合理的に調整する見地から、利潤發生の源泉に對つて利潤率を算定する方式を制定し過當利潤の隱蔽を防止してその適正化を圖ることになつたがその「軍需工業適正利潤算定要領」はいよいよ七月一日から一般に實施される。

七月二日

ドイツ政府は一日ベルリン外國使臣に對し來る十五日までにノルウェー、ベルギー、オランダ、リニクサンブル四國に駐在する外交使臣を引揚げるやう通告した。

製鐵用輸入京料配給等統制令（勅令第四五五號）海軍軍人軍屬傷病再發者收療規則（勅令海軍省令第一三號）公布

紀元二千六百年御慶祝のため去月二十六日晴れの御入京遊ばされた滿洲國皇帝陛下には日滿兩國皇室御親善の重き儀禮を果させ給ひ、二日朝東京驛御發車、帝

都市民の熱誠な奉送の裡に御退京、更に神宮、山陵等御參拜のため御西下、京都へ向はせられた。

ドイツ空軍は去る六月三十日より一日にかけてフランス西海岸沖に位置する英領ジャージー、ガーンジーの二島を空襲し爆撃後空軍部隊は同島に着陸、戰闘の後にこれを占領したが、占領に引つゞき獨海軍及び陸軍の後續部隊は同島に上陸附近のその他の島嶼及びその近海を確保した。

七日三日

日滿一體一徳一心の御契りも同く滿洲國皇帝陛下にはけふ三日、わが皇祖の御神靈の大前に悠久紀元二千六百年の佳き歳を壽がせたまふ——二日朝帝都御發同日午後五時五十分京都驛に御着、大宮御所に御安らかな一夜を過ぎせられた皇帝陛下には三日伊勢路に向はせられ、まづ豊受大神宮に御參拜、ついで皇大神宮に御參拜あらせられ、こゝに外國元首と

して神宮御參拜の尊くも輝かしき御先例を開かせられたのである。

七月四日

本日海軍航空部隊は折柄の密雲を衝き第廿次重慶爆撃を敢行した外遂寧飛行場を爆碎せり。

日支國交調整に關する條約締結交渉の開始につき、四日午後五時日本大使館並に國民政府行政院宣傳部共同發表の形式を以て左の如く公表された。

日支兩國の新關係を律すべき條約締結に關する交渉は七月五日より南京において開始せらるることなれり。

内務省が定期刊行物の出版統制を強化今後新聞紙法または出版法によるものといへども不急刊行物は一切受理せぬ方針を堅持することに決定した事は既報したが更に民間ばかりでなく事變以來特に目立つて増加した全國各官廳の出版物に對しても同様統制を實施用紙雜を出来るだけ緩和することとなつた。

ドイツ側發表によれば三日午後佛領アルゼリアのオラン軍港内にある佛艦隊と英國地中海艦隊との間に激戦が行はれ、ヒトラー總統は右佛艦隊に自爆を命令した。その経過は次の如くである。獨佛休

戰協定により佛領アルゼリアのオラン港に入港した佛艦隊に對し三日同港外に現れた主力艦三隻、航空母艦一隻、巡洋艦三隻その他小型艦艇よりなる英國艦隊は六時間以内に英艦隊に降伏するか或は自爆せよとの要求を突きつけた。佛艦隊がこの要求に回答を與へない内に英艦隊は水上機を以て同港口に機雷を敷設し午後五時五十分より一齊に砲門を開き港内の佛艦隊に向つて砲撃を開始し午後七時より之に應じて佛艦隊も亦英艦隊に反撃を開始し激戦が展開され、目下尙戰鬪繼續中であるが、このため同港内にあつた佛艦隊の内主力艦アルターニユ號(二二、一八九トン)は撃沈され主力艦プロゴアンス號(二二、一八九トン)及び輕巡洋

艦モンカラム號(七、六〇〇トン)の二艦は火災を起し炎焼中尙主力艦ストラスブル號(二六、五〇〇噸)は大損害を蒙つたが港外に逃れたと傳へられる。

七月五日

新しき日支國交調整の條約締結交渉は五日午前十時から南京國民政府の奥まつた一室において開始された。日本側は阿部大使以下各隨員、支那側は行政院長汪精衛氏を中心に褚民誼外交部長以下各委員、日支雙方七名づつが相對して着席、會議は阿部大使、汪氏の挨拶によつてはじめられた。第一日の討議事項は専ら議事進行の方法に止め一時間半はして終つた。事變第三周年の記念日を二日後に控へ近衛聲明はこゝに具體的實踐の第一歩を踏み出し、汪精衛氏の唱道する和平建國運動は新なる躍進の段階に入つたのである。

五日午後一時三十四分常磐線北千住驛構内北側荒川放水路寄り信號所わきで青

森行貨物列車の貨車入替作業中松戸發上野行上り省電一三〇F電車(二輛連結)が進入し來つて轟然追突、同時に貨車十輛と省電が大音響と共に脱線省電は顛覆、猛烈な火を吹き出し乗客は阿鼻叫喚裡に逃れ出でんとし驛員總出動の救出作業に乗客は全部救ひ出されたが衝突と同時に將棋倒し或は座席から轉落した乗客約七十名は重輕傷を負ひ附近の病院に收容された。これがため同線は上下不通となり鐵道當局では取りあはず上り龜有、下り北千住で折返し運轉を行つてゐる。

日支條約締結交渉第一の経過に關し五日午後三時帝國大使館より左のごときコンミュニケを發表した。

日支兩國新關係調整に關する第一回會議は七月五日午前十時開會、同十一時十分閉會せり、本會議において汪行政院長は歴史的重大使命を負へる阿部特命全權大使に對し深甚の敬意を表し兩國國交の

前途ならびに東亞の前途に對し今や絶大なる感激と期待をもつて會議に臨まんとする旨を述べたるのち、日支國交調整に關する中華民國政府の一般の見解を披露し誠心誠意同心協力もつてその使命を完成せんことを述べたり、阿部特命全權大使は還都以來汪行政院長ならびに政府關係各員が施政に示されたる熱心なる努力に對し滿腔の敬意を表したるのち、兩國間新國交修復に關する帝國政府不動の根本的見解を詳述し、次同より具體的商議に入らんとする意向を述べ、誠意をもつて今次交渉の歴史的成果をあげんとする決意を披瀝せり、本日の會議は右のごとく彼我の一般の見解の詳述にとどまりたるが、なほ會議進行に關する事務的手續を協議決定せり。

上海、杭州、湖州を結ぶ三角地帯及び長江沿岸安慶を中心とする江北、江南地區掃蕩戰に於ける六月中の戰果左の如し。

一、三角地帯 交戰回數百七十八、敵總

兵力三萬七千、敵遺棄死體三千六百十捕虜三百四十三、鹵獲品重機五、同彈藥一萬三千二百五十、輕機二十七、同彈藥四千七百六十、小銃三百五十四、同彈藥六萬七百三十一、その他自動小銃、拳銃、手榴彈等多數、我が方戰死百三十。

一、安慶周邊地區 交戰回數八十六、敵總兵力二萬八千、敵遺棄死體三千百六十九、捕虜百七十六、鹵獲品迫撃砲八同彈藥三百六十、輕機二十六、小銃四百。

地中海に於ける英佛海戰に關し四日佛政府では閣議を開催した結果、今後英國との外交關係を斷絶する事に決し、五日公報を以て發表した。

七月六日

石油資源開發法施行規程中改正（商工省令第四九號）奢侈品等製造販賣制限規則（商工農林省令第二號）奢侈品等製造販

賣制限規則第一條ノ規定ニ依ル物品ノ指

定（商工省告示第三三九號）奢侈品等製造販賣制限規則第二條第一項第三號及同條同項ノ規定ニ依リ物品並ニ當該物品及其ノ中古品ニ付テノ年月日指定（商工省告示第三四〇號）奢侈品等製造販賣制限規則第二條第一項ノ規定ニ依リ同條同項第一號ニ掲クル物品及其ノ中古品ニ付テノ年月日指定（商工省告示第三四一號）奢侈品等製造販賣制限規則第二條第二項ニ依ル製造物品及其ノ中古品指定（商工省告示第三四二號）公布

お名残り惜しくもけふ六日は滿洲國皇帝陛下奉送の日である——紀元二千六百年御慶祝の御使命も輝かしく去月二十六日御來訪あそばされ、わが皇室の御歡待に御感銘殊のほか深く、神宮、山陵などの御參拜を終へさせられた皇帝陛下には御多端な御日程にいきゝかの御疲勞の色もなく、いよゝ六日御機嫌うるはしく御召艦日向にて大阪を御出航、御歸國の

途につかされたまふ、御滯日十一日間、親しく御垂範あらせられた日滿一體の數々の御儀はまことに感激深きものがあり、謹んで御旅路の御安泰を祈るばかりである。

大本營陸軍報道部では六日午後五時、支那事變勃發以來、聖戰四年の綜合戰果を發表した。僅々三ヶ月間に激成された支那事變を繞る客觀的諸情勢の一大異變によつて、支那事變は最近に至つて全く新段階に入り、重慶抗日政權の苦悶の色濃き現情勢となつてゐる。この四年間に於ける敵の遺棄死體は目撃したもののみでも百五十八萬七千六百と云ふ驚異的な大損害を與へ、わが戦線の延長實に四千六百キロ、占據面積またわが全土の約二倍半弱であつて、重慶政權下及び爾餘の支那本土の全面積に比し殆ど同じ廣大なる面積を占據せる結果となつてゐる。航空部隊の活躍また眞に劃期的であつて、支那事變及び滿蒙國境において與へた損

害合して千九百三十四機、わが損害はその十パーセントの百九十四機わが皇軍の無比なる戰鬥力を實證してゐる。この四年の聖戰進軍譜において東亞新秩序建設の第一線に立つて護國の鬼となつた英靈は八萬五千八百と發表された。

七月七日

内閣情報部、國民精神總動員本部主催の「支那事變三周年記念大講演會」は演壇に米内首相をはじめ畑陸軍、吉田海軍有田外務の四相を迎へて七日午後七時十分から日比谷公會堂で盛大に開かれた。定刻前聴衆は會場を立錐の餘地なきまで埋め盡した。先づ關東吹奏樂團聯盟の奏樂と聴衆の拍手に迎へられて四相臨場、熊谷内閣情報部長附會の辭を述べ、宮城遙拜、國歌齊唱、戦役將士の慰靈並に皇軍將兵の武運長久を祈念した後、米内首相登壇、續いて畑陸相、吉田海相、有田外相とそれ／＼國際情勢急變の中に敢然として東亞新秩序建設に邁進しつゝある

我國の使命と國民のより固き鐵石の覺悟とについて會衆はじめマイクを通じ全國民に熱誠あふるゝ聲を送つたが、聴衆は各大臣の一語々に感激と決意の拍手を送り、斯くて堀切精動本部長の閉會の挨拶で講演會を終了、續いて映畫にうつり陸軍省情報部監修「聖戰三年」海軍省作製「海軍作戰記録」に戦線の勞苦を偲び同十時盛會裡に散會した。

滿洲國皇帝陛下には神武天皇畝傍山東北陵に御參拜、ついで官幣大社樞原神宮に御參拜あそばされた。翠濃き畝傍山のほとり八紘一字、わが建國の大精神みつゝ、聖地に悠久の昔を偲ばせられ、神武天皇の御神靈の大前に紀元二千六百年を壽がせられ、併せて日滿一體不動の固き御契りを尊くも御祈念あらせられた。佳き歳、佳き日、外國元首御はじめの御參拜、まことに青史に燦たる御儀であつた。

物價政策の遂行確保、資材、勞力など

の重點主義の徹底、戰時生活の刷新に寄與する目的をもつて政府は去る五月十日の閣議において奢侈品等の製造販賣制限を斷行する方針を決し、商工省ではこれに本づき具體案を研究中であつたが、その後價格形成委員會および物價對策審議會に付議した結果、輸出入品等臨時措置法に本づき奢侈品等製造販賣制限規則（商工、農林省令）および商工、農林兩省告示を制定六日公布、七日より實施することゝなつた。本規則による禁制品は製造禁止品を除き大體の方針として高級品の上値二割を切下げることゝしたがその理由は業者に急激な影響を與へざること、現在なほストツク品が多くあることを考へに入れたためで本則により盡然と奢侈品のラインを引いたわけではなく今後逐次製造の時期、状況に應じこの線をさらに切下げ、もつて戰時國民生活の一定水準に適正せしめる方針で製造制限の範圍も増加し現在許可されてゐるものも一

定時期にはさらに禁止することゝなつた。

七月八日

織維屑配給統制規則（商工省令第五〇號）公布

本七月八日午後二時半在本邦英國大使は本國政府の訓令により、有田外務大臣を官邸に來訪、六月廿四日我方よりのピルマ香港經由授荷物資輸送禁絶方申入れに對する回答として、香港經由の軍需物資の輸送は香港政廳に於て銳意禁止し來り居り、既に日本政府の要求に副ひ居るものと信ずるものなる旨、並にピルマ經由軍需物資輸送禁絶に付考慮をめぐらしたる旨を縷々述べた。之に對し有田大臣より右英國側回答は帝國政府として頗る不満足なりとして英國側の所見に對し我方の所見を強調すると共に、同政府の再考を促す外なき旨を申入れた。

佐賀縣書記官 柏木 輝夫

任埼玉縣書記官（學務部長）

埼玉縣書記官 坂田喜一郎

任静岡縣書記官（經濟部長）

静岡縣書記官 沖森 源一

任滋賀縣書記官（總務部長）

川島 勇

任佐賀縣書記官（經濟部長）

川越 丈雄

東北興業總裁兼東北振興電力社長被仰付

横山 助成

依願東北興業總裁兼東北振興電力社長被免

七月九日

宗教團體法第二十二條第三項ノ規定ニ依ル地租ノ免除ニ關スル件（勅令第四六〇號）登録稅法施行規則中改正（勅令第四六一號）不動産登記法施行細則中改正（司法省令第四四號）綿羊飼育獎勵規則中改正（農林省令第五五號）青果物配給統制規則（農林省令第五六號）公布

七月十日

軍司令部令（軍令陸第一二號）、師團司令

部條例（軍令陸第一三號）、志津陸軍飛行學校令改正定（軍令陸第一四號）明野陸軍飛行學校令改正（軍令陸第一五號）、濱松陸軍飛行學校令改正（軍令陸第一六號）、鉦田陸軍飛行學校令（軍令陸第一七號）陸軍航空技術學校令改正（軍令陸第一八號）公布

陸軍は東亞の最新勢と急轉するヨーロッパの戦局をめぐる國際情勢に對應して鐵壁、不敗の國防態勢を整へる方針の下に、本年四月から所謂第二次修正軍備計畫の實行期に入り、帝國陸軍の量、質兩方面の劃期的擴充を目的として、今春來兵器本部の創設その他幾多の重要軍政の改革を斷行し來つたが、今回更に内地を四軍管區制度に劃分して、外地兵備の基地たらしめる最も劃期的な大編制改革を斷行して國防態勢を強化することに決定した。今回の編制改革の結果昭和十一年に創設せられた東部、中部、西部の三防衛司令部は廢止せられ、全本土を以て新

たに四軍管區司令部に劃分し、東部、北部、中部、西部の四軍管區司令部が創設せられ、大、中將をもつて親補せられる司令官がそれら管下の各師團を統轄することとなつた外、召集行政と地方行政との合理的統一と能率の強化を目的として、聯隊區司令部に大改正を斷行し一府縣一聯隊區主義の新方針を同時に決定したと如陸相は談られた。

七月十一日

家屋賃貸價格補整ニ關スル件（内務省令第二五號）公布

七月十二日

家屋税法（法律第一〇八號）地方分與稅委員會官制（勅令第四六二號）家屋税法施行規則（勅令第四六七號）輸出農産物株式会社法第二十條第一項ノ規定ニ依ル命令等ニ關スル件（勅令第四六八號）軍司令部令（軍令陸第一二號）師團司令部條例（軍令陸第一三號）志津、明野、濱松、鉦田、各飛行學校令（軍令陸第一四

號第一五號第一六號第一七號）公布

聖戰下閣取引の斷乎絶滅を期し内務省では十二日全國經濟保安課長會議を開き今後の取締り根本方針として、

一、計畫的の犯行に對處して智能的檢舉搜査の實行

一、全國官民一體となり強力の檢舉網の樹立

一、經濟一般の徹底的取締りの強化の三項目を擧げ即時實行する様強硬態度を披露

山形縣書記官 井上文介

任宮城縣書記官（警察部長）

内務事務官 増原 惠吉

任山形縣書記官警察部長

×

×